

作成日 2020/09/24
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	墨汁 鉄工用 無塩タイプ
ブランド	モノタロウ
注文コード	73555527
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M220616

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(血液系 腎臓 中枢神経系) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓 免疫系) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H332 吸入すると有害
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H350 発がんのおそれ
H370 血液系、腎臓、中枢神経系の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、免疫系の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置	屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 (P271)
	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。 (P302+P352)
保管	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
廃棄	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
保管	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化チタン(Ⅳ)	17.5～21.0%	TiO ₂	(1)-558,(5)-	既存	13463-67-7
エチレングリコール	60.0～62.0%	HOCH ₂ CH ₂ OH	(2)-230	既存	107-21-1
シリカ	0.07～1.75%	SiO ₂	(1)-548	既存	7631-86-9
体質顔料	0.07～1.75%	不明	不明	不明	不明
水	15.0～25.0%	不明	不明	不明	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。水でうがいをする。

皮膚に付着した場合

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合	嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項 やラベル、SDSを示す。 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。 救急者は、保護具を着用する(ばく露防止措置の注意事項を参照)。 直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又はSDS を示す。	
応急措置をする者の保護		
医師に対する特別な注意事項		
5. 火災時の措置		
適切な消火剤	泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。	
火災時の特有の危険有害性	周辺火災の場合:移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。	
着火した場合	火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。	
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は保護具(ばく露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。	
環境に対する注意事項	漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。	
二次災害の防止策	漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に 報告する。	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	容器は注意して取扱い、開ける。使用時には飲食しない。皮膚との接触を避ける。 眼との接触を避ける。眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。	
	技術的対策	換気のよい区域でのみ使用する。 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。取扱いは換気のよい場所で行う。作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。局所排気装置の設置された場所で作業する。 眼/顔面用の保護具を着用する。適当な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用する。 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
保管	安全な保管条件	安全な保管条件:熱から離して保管する。 着火源から離して保管する-禁煙。容器を密閉して保管する。
8. ばく露防止及び保護措置		

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エチレングリコール	未設定	未設定	TWA 25 ppm (V), STEL 50 ppm (V), 10 mg/m ³ (I, H)
酸化チタン(Ⅳ)	未設定	0.3mg/m ³ 【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵4mg/m ³	TWA 10 mg/m ³ , STEL -
シリカ	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具

取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取扱う。

本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。

不浸透性手袋(ウレタン製等)。

保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)。

帯電防止性能を有する長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

色

臭い

融点／凝固点

沸点又は初留点及び沸点

範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限 下限 界／可燃限界

上限

引火点

自然発火点

分解温度

pH

動粘性率

溶解度

n-オクタノール／水分配

係数

蒸気圧

密度及び／又は相対密度

相対ガス密度

粒子特性

液体

液体

白色

特異臭

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

引火せず

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

水と混和

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

情報なし

安定

情報なし

50℃以上の長時間の保管、0℃以下の長時間の保管は避ける。製品性能に影響する可能性あり。

情報なし

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が3.6145161mg/lのため区分4とした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性		区分2の成分合計が62%のため、区分2とした。 眼区分2B+眼区分2の成分合計が63.75%のため、区分2Aとした。 データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性		データ不足のため分類できない。 区分1Aの成分が1.75%のため、区分1Aとした。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分1(血液系)の成分が62%のため、区分1(血液系)とした。 区分1(腎臓)の成分が62%のため、区分1(腎臓)とした。 区分1(中枢神経系)の成分が62%のため、区分1(中枢神経系)とした。 区分3(麻酔作用)の成分合計が62%のため、区分3(麻酔作用)とした。 区分3(気道刺激性)の成分合計が63.75%のため、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が21%のため、区分1(呼吸器)とした。 区分1(腎臓)の成分が1.75%のため、区分2(腎臓)とした。 区分1(免疫系)の成分が1.75%のため、区分2(免疫系)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

この製品は排水溝中に空けてはならない。
法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。
産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。
法規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。
焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除外装置のある焼却炉の使用を推奨する。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code
非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質
非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報
非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
エチレングリコール(政令番号:75)(60%-70%)
結晶質シリカ(政令番号:165の2)(5%未満)
酸化チタン(IV)(政令番号:191)(20%-30%)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当
非該当

化審法
大気汚染防止法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法

有害でない物質(施行令別表第1の2)
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)
有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)

外国為替及び外国貿易法

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)
じん肺法

輸出貿易管理令別表第1の16の項
輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。